



6月5日(月)に「三石総合支所」、10日(土)のオープニングセレモニーに併せて「はまなすホール」、「図書館三石分館」等がオープンし、町民が待ち望んでいた町総合市民センターの運用が開始しました。

オープニングセレモニー

6月10日(土)にオープニングセレモニーが執り行われました。入口には開館を待つ町民の方が列を作り、悪天候にも関わらず、約300人が来場しました。開会セレモニーによるテーブルカットにて、オープニングセレモニーが開会。来場者は、来場者プレゼントのマリーゴールドやデルフィニウム、ミニトマトを受け取った後、施設内を自由に見学し、ふれあいロビーでは、子ども縁日が行われ、かき氷やヨーヨー釣り、おもちゃすくいなどを楽しむ子どもの姿が見られました。オープニングコンサートでは、第1部は三石中学校、第2部の冒頭では、表紙で紹介しました「新ひだか町サポーター大使」の認定証授与式が執り行われ、サポーター大使第8号に認定された「阿部卓馬」さんに酒井芳秀町長より認定証が手渡されました。少し緊張気味の阿部さんでしたが、挨拶

時には「少しでも地元貢献できるような頑張りますので、これからも応援よろしくお願います」と笑顔で述べました。認定証授与式終了後は、社交ダンスユニット「チャチャガールズ」によるダンスや阿部卓馬さんによるライブ、「ちはらさき」さんによる演歌によってステージが彩られ、大盛況で幕を閉じました。今後、イベントやサークル活動などを通じて、多くの方々に活用いただき、町民の集いの場としてもご利用いただけましたら幸いです。

★サポーター大使とは？
町内に滞在、若しくは縁のある方などを「北海道新ひだか町ふるさと大使及びサポーター大使」として認定し、新ひだか町の自然や経済、文化、歴史など町の魅力を十分に理解し、その素晴らしさを全国に広くPRしていただき、観光客の誘いや産業振興など、幅広い分野で町の振興に寄与していただくことを目的としています。平成18年度より実施し、現在、ふるさと大使5名、サポーター大使7名の計12名が全国各地で活動中です。



長い間ありがとう！



町総合市民センター「はまなす」オープン
町福祉センターは昭和43年の開設以来、芸能発表、サークル活動などの拠点として、長年地域に親しまれ利用されてきました。しかし、建設から40年以上経過し、老朽化が著しくバリアフリー対策も不十分であるなど、機能性、利便性の面で抜本的な施設整備が必要となりました。この町福祉センター整備については、合併前の旧三石町時代から建替の計画があり、建設に向けた基金造成、建設資金の寄附、各種

団体等からの早期実現を願う要望等がありました。一方、図書館は昭和50年に開設され、平成20年に旧三石幼稚園跡へ移転しましたが、図書館機能としては不十分でありました。また、三石庁舎においても昭和36年の建設から、50年以上が経過し、老朽化、バリアフリー対策も不十分であり、両施設とも施設整備が必要となっていました。町では、これらの課題を解消するため、3施設を統合し新たな複合施設の建設に向け、平成23年から検討を開始し、平成24年には町内の公共団体、学識経験者、公募委員

で構成する「(仮称)新ひだか町総合市民センター建設検討委員会」を設置し、計9回におよぶ検討委員会、先進地視察研修を行い、この施設に備えるべき機能、規模などを検討し、平成25年3月に町へ提言書を提出しました。町は、建設検討委員会からの提言を踏まえ、平成25年に基本構想・基本計画の策定を行い、平成26年に設計提案選定設計競技審査、実施設計等を行い、平成27年に新築工事に着手し、今年5月に完成、6月10日にオープンしました。

施設・設備紹介



図書館三石分館

一般書、児童書・絵本を併せて約2万2千冊を収容可能。新たな所蔵資料としてCDが追加されました。おはなしのへやや地域資料コーナー、視聴覚・PCコーナーがあり、定期的に企画展示や小学生、幼児向けの読み聞かせなども実施しています。



楽屋

ステージ利用時の控室にでき、シャワーも完備。小規模なミーティング室としても使用できます。



シアタールーム

最大100席（固定席50席）の設置が可能。ミニライブや常備しているスクリーンで鑑賞会に活用できます。



和洋室

20畳の和室と洋室を併せ多目的に使用でき、和室には炉が切っており、茶道での使用も可能です。



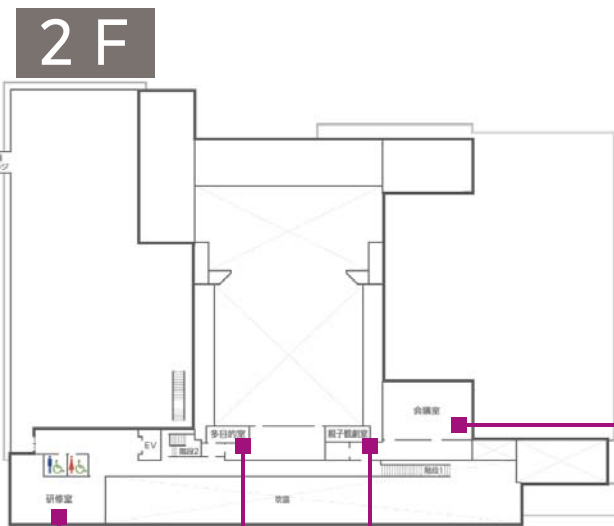
パントリー

はまなすホールで祝賀会等を開催する際の配膳室としての利用が可能で、小規模な料理教室等も開催できます。



三石総合支所

町税や戸籍、農林水産関係の業務など、従来の新ひだか町役場三石庁舎の機能に加え、保健師が常に在席し、予防接種や住民健診などの窓口が追加。各課直通のダイヤルも整備され、より一層便利になりました。会議室とプライバシーに配慮した相談室もあります。



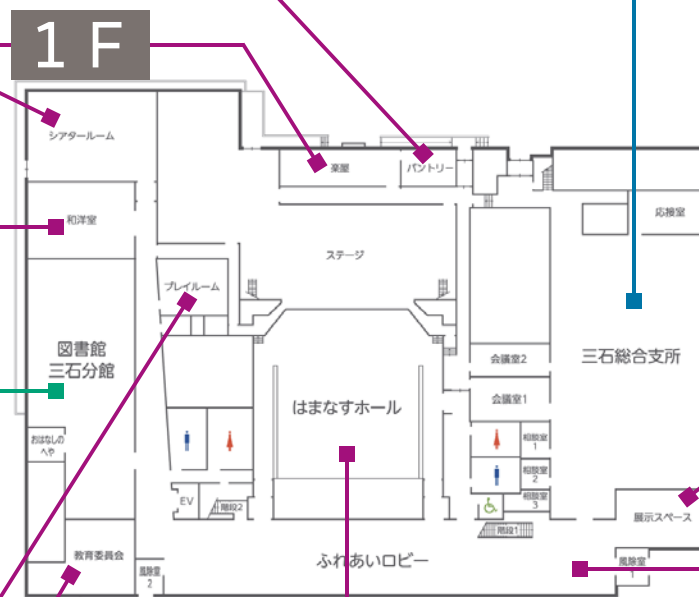
プレイルーム

小さなお子様安心して遊べます。隣接して、ベビーベッドを備えた授乳室も設置しています。



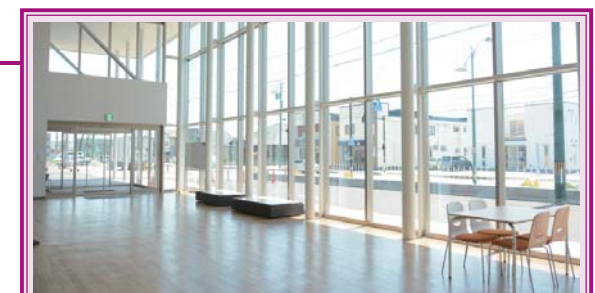
会議室

小規模な会議や打合せに使用でき、中央で仕切ることができるため、2部屋での使用が可能です。



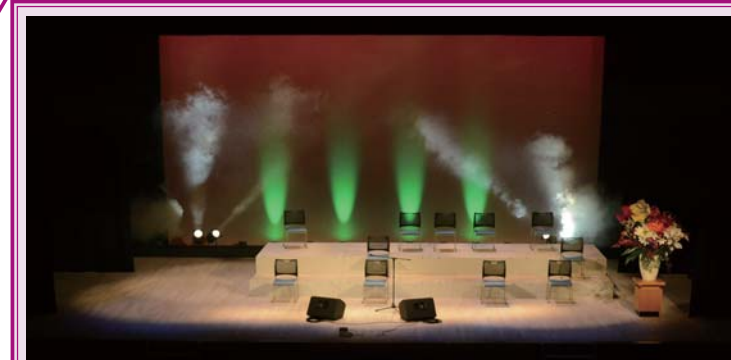
展示スペース

三石地区にゆかりのある資料を展示しています。「縄文人も蓬莱山に登っていた?」「この場所で、昔お酒が造られていた!」等、歴史の1コマにあなたもタイムスリップしてみませんか?



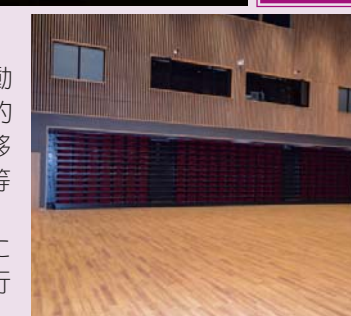
ふれあいロビー

一面ガラス張りので、自然日光を取り込むことができます。両側に入出口があり、通気性もよく、エアコン完備。テーブルと椅子を設置しており、憩いの場としてもご利用いただけます。



はまなすホール

300㎡を超える広いステージと椅子席、移動用席を併せて最大400名が観覧できる本格的な文化ホールとしての使用だけでなく、移動用席を収納すると祝賀会や会議、研修会等での利用も可能で多目的に活用できます。舞台そではスペースを広く設け、町公民館に比べると、大道具の搬入などもスムーズに行うことができるようになりました。



研修室

サークル活動や会議など多目的に使用することができます。



親子観劇室・多目的室

小さなお子様連れで観覧する際、周囲を気にせず観覧できます。



教育委員会

はまなすホールや各施設等の予約、行事の管理などを行っています。